

H A R D O C

県民・事業者・行政が一体となって

トライアングル

第 20 号

兵庫県フロン回収・処理推進協議会
広 報 紙
1999.10.15 発行
編集発行 推進協議会事務局

平成 10 年度 C F C 回収状況

平成 11 年 9 月 1 日、オゾン層保護対策推進月間の初日に、通商産業省及環境庁が、平成 10 年度のフロン回収状況について発表しました。ここでは、その概要を紹介します。

1. C F C の回収率

平成 10 年度は、関係業界や地域におけるフロン回収システムが整備され始めた時期でもあり、全般的には低い水準であった。

機器の種類	回収台数又は回収量	推計廃棄台数又は推計回収可能量	回収率
家庭用冷蔵庫	1,215千台	4,182千台	29%(台数ベース)
うち市町村ルート	1,080千台	1,412千台	77%(台数ベース)
うち家電販売店等ルート	135千台	2,770千台	5%(台数ベース)
カーエアコン	140t	1,200t	12%(量ベース)
業務用冷凍空調機器	690t	1,230t	56%(量ベース)

2. フロン回収を実施する市町村

家庭用冷蔵庫からフロンを回収している市町村は、平成 10 年度末までに全体の約 81%に達した。兵庫県は約 87%であった。

	全国	兵庫県
フロン回収実施市町村数	2,620	79
全市町村数に対する割合	81.0%	86.8%

また、C F C の回収台数も増えているが、推計廃棄台数も増えているため、C F C 回

収率(台数ベース)は約77%と、9年度の約78%を下回った。兵庫県は約72%であった。

なお、ルームエアコンについては回収率が悪く、全国では約61%であり、兵庫県では約64%であった。

	電気冷蔵庫		ルームエアコン	
	全国	兵庫県	全国	兵庫県
回収量(t)	69.9	-	-	-
フロン回収台数(千台)	1,080	31	154	3
推計廃棄台数(千台)又は 機器収集台数(千台)	1,412	43	252	4
回収率(%)	76.5	71.5	61.1	64.0

3. フロン回収推進協議会

関係市町村、関係業界等が参加したフロン回収推進協議会等は、平成10年度末で約97%、平成11年8月にすべての都道府県・政令指定都市に設置された。

4. フロン破壊処理施設

フロン破壊処理施設は平成10年度末で33施設あり、平成10年度の破壊処理量は約537tである。

参考までに、兵庫県フロン回収・処理推進協議会の平成10年度破壊処理量は、約23tである。

以上が概要ですが、全体的に「回収率は低い」ことがわかります。

近畿地方では、平成10年8月に自動車工業会が、平成11年2月に近畿冷凍空調工業会がフロン回収・処理システムの運営を開始したばかりですので、あまり高い回収率にはならなかったのでしょうか。

なお、平成10年度の兵庫県下のフロン回収状況につきましては、協議会構成団体の皆様のご協力のもと、現在調査中です。集計結果がまとまるのは平成12年3月初旬の予定ですので、まとも次第、会員の皆様には報告させていただきます。

平成10年度オゾン層監視結果

平成11年7月22日に、環境庁より、「平成10年度オゾン層等の監視結果に関する年次報告書について」と題した記者発表がありました。

これは、平成10年度のオゾン層破壊の状況や、CFC等の大気中濃度等の監視結果について取りまとめたものです。

主な内容は次のとおりです。

1. 南極上空のオゾンホールの規模は過去最大

オゾンホールの面積は南極大陸の約2倍に達し、過去最も遅い12月中旬以降に消滅した。

2. オゾン全量の長期的傾向は、低緯度を除いた地域で減少傾向

高緯度ほど減少傾向が強く、減少は春先に顕著である。

日本上空でも、札幌で減少傾向が確認されている。

3. 北半球中緯度では、CFCの増加はほとんど止まっている

北海道でのCFC濃度の増加率は年0～2%で、CFC濃度の増加はほとんど止まっている。

一方、HCFC及びHFCについては増加の傾向にあり、今回始めて取りまとめたハロンについても増加の傾向が確認された。

4. 日本での有害紫外線の地上照射量は大きな変化なし

日本では、オゾン全量が減少している札幌を含む、国内4ヵ所での有害紫外線の観測値には、1991年の観測開始以来、明らかな増加傾向は見られていない。

5. オゾン層破壊物質の濃度は2000年までにピークに

1998年WMO（世界気象機関）/UNEP（国連環境計画）科学アセスメントパネル報告書によると、モントリオール議定書の規制をすべての国が遵守すれば、（1）オゾン層破壊物質の濃度は2000年までにピークに達し、（2）オゾン層破壊のピークは2020年までに訪れ、（3）オゾン層破壊物質の濃度は2050年までに1980年以前のレベルに戻る、と予測されている。

フロン回収装置 & ボンベ リース情報

1. フロン回収装置

(1) 回収装置リース状況 (平成11年9月30日現在)

リース先	リース台数	うち据置型	うち車載型	備 考
自動車解体処理事業者	10台	10台	0台	
冷凍空調工事業業者	7台	7台	0台	
廃棄物処理業者	23台	22台	1台	
計	40台	39台	1台	

(2) リース可能回収装置

カーエアコン専用の据置型回収装置 (ジャテック製 17400) が1台あります。
希望者が多い場合は抽選となります。

(3) リースに関する注意事項

リース料金には、修理、メンテナンス費用は含みません(使用者負担になります)。

リースされた回収装置の搬送費用は、リース会員の負担となります。

リース期間は、お申込みから6ヶ月以上で、最大平成12年3月末日までとなります。
それ以降もリースを希望する場合は継続申請することができます。

回収装置のリースが決定された場合、リース期間内に当推進協議会の「回収フロン処理システム」を利用して、フロンの破壊処理をしてください。

年2回、フロンの回収状況の報告をお願いしますので、フロンの回収量、破壊処理量は把握しておいてください。

または ができない場合は、リース期間満了後、継続してリースをする事が出来ません。

2. フロン回収用ボンベ

ボンベリースおよび在庫状況（平成11年9月30日現在）

区分	回収装置メーカー	容量	フロン名	リース累計	在庫本数	備考
専用	中島自動車電装	20kg	1 2	3 8 本	8 本	回収装置の専用 ボンベ
	中島自動車電装	20kg	2 2	2 2 本	0 本	
	ジャテック	20kg	1 2	5 本	0 本	
	マツダ産業	20kg	1 2	0 本	1 本	
	日立オートシステムズ	10kg	1 2	2 本	0 本	
	トキメック	20kg	1 2	1 本	0 本	
汎用		10kg	1 2	0 本	0 本	サイフォン付き、 2口ボンベ
		10kg	2 2	1 本	0 本	
		20kg	1 2	8 9 本	3 8 本	
		20kg	2 2	8 7 本	1 2 本	
		20kg	5 0 2	3 本	6 4 本	
計				2 4 8 本	1 2 3 本	

汎用ボンベとは、一般に使われているボンベのことで、お持ちの回収装置に合うとは限りません。もしもリースしたボンベが回収装置に接続できなかった場合は、取引のある高圧ガス取り扱い業者にご相談ください。

小学生作文絵画コンクール作品展

明石市商工会議所婦人会の主催で、小学生（環境・ゴミ問題）作文・絵画コンクールが実施され、その作品展に当協議会が「オゾン層保護」に関するパネルを展示させていただきました。

展示場所は、明石市立産業交流センター1階の展示場で、夏休み最初の、平成11年7月21日（水）～25日（日）の5日間展示されました。

【パネルの写真】

また、フロン回収実演でいつもお世話になっている、当協議会会員の(有)三木商店も、車載型フロン回収装置（フロン回収車）を展示しました。

フロン回収技術講習会を開催

オゾン層保護対策推進月間中である平成11年9月16日(木)、兵庫県中央労働センター小ホールにおいて、フロン回収技術講習会を開催しました。

ここではその概要を報告します。

【講習中の写真】

<フロン回収技術講習会 概要>

1. 日時 平成11年9月16日(木)

13:30~15:30

2. 場所 兵庫県中央労働センター小ホール

3. 出席者数 87名

4. 講習内容

(1) オゾン層保護対策の動向について

講師：環境庁大気保全局広域大気管理室室長補佐 太田志津子

(2) 環境の保全と創造に関する条例について

講師：兵庫県生活文化部環境局大気課課長補佐兼地球環境係長 矢内健太郎

(3) フロン回収技術について

講師：中島自動車電装株式会社代表取締役 中島 朗(技術委員会委員)

この講習会は、会員の皆さんのフロン回収技術の向上が一番の目的ですが、フロン回収に対するご理解を改めて得るためにも、オゾン層保護や県条例についても説明させていただきました。

なお、今回の講習会では、受講者の皆さんに「受講証(右図参照)」を発行いたしました。

この受講証は、「資格」ではありませんが、店内に飾っていただければ、お客様に対して、「適正にフロンを回収し、処理している」旨、アピールできることと思います。

また、次回「フロン回収事業者名簿」を発行する際には、「講習会受講の有無」についても記載します。

【受講証】

ひょうごエコフェスティバル'99に 出展・協賛します

今年も「ひょうごエコフェスティバル」に出展及び協賛します。

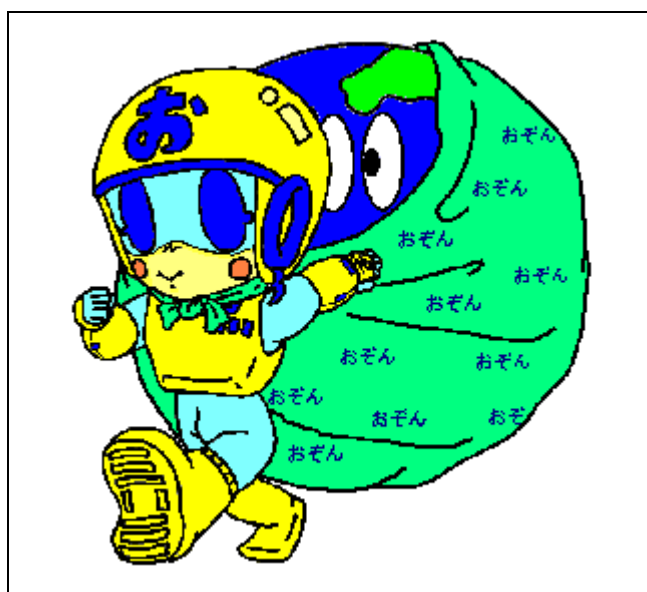
これは兵庫県が実施する「ふれあいの祭典」の中の「さわやか環境まつり」のことで、県民の皆さんが環境問題について考え、行動を起こす契機となることを目的に、平成3年度から開催されているものです。今回は下記のとおり行われます。

1. 開催日時 平成11年10月23日(土)・24日(日)
10:00~16:00
2. 会場 県立明石公園 東芝生広場
3. 入場料 無料

展示内容は、フロン回収装置やパネルの展示、昨年から実施しております紫外線の測定その他、マスコットキャラクター「オゾンちゃん」(下図)を使ったイラストも展示しております。

オゾンのふろしきで地球を包み、有害紫外線から地球を守る、「オゾンちゃん」の活躍を4コマ漫画にしてみました。

両日とも来場者のうち、オゾンちゃんに手紙を書いてくれた先着100名様(お子様を対象)には、記念品を差し上げます。



当日は、協議会の展示以外、ご家族連れの方にも楽しんでいただけるような催しを、いろいろ企画されていますので、ぜひご来場ください。

また、会場は昨年とは別の場所になっております。昨年は明石西公園で開催していましたが、今回は「明石公園」での開催となっております。ご注意ください。

なお、ひょうごエコフェスティバル'99に関するお問い合わせは

実行委員会(兵庫県環境政策課内) TEL 078-362-3156

ルームエアコンの撤去時は要注意

フロンの回収については、会員の皆さんには日頃よりご協力をいただきありがとうございます。

しかし、冒頭のCFC回収状況にも書いてあるとおり、ルームエアコンについては回収率がよくありません。これは、作業中あるいは搬送中にフロンの抜けしているためです。

ルームエアコンを撤去する際には、確実にバルブを閉め、室外機にフロンを集めて、確実にフロンを回収するようお願いします。

現場で直接フロンを回収できない場合は、室外機にフロンを封じ込め、搬送する際にもフロンの漏出防止にご注意願います。

また、事業者へ委託される際にも、フロンの漏出を防止するよう、ご依頼願います。

事務局だより

オゾン層保護対策推進月間である9月には、フロン回収技術講習会も無事終わり、とうとう平成11年度も下半期に突入しました。

兵庫県主催の行事としては、10月にはひょうごエコフェスティバルがあり、11月からは地球温暖化防止県民フォーラム(仮)も順次開催されます。協議会では、これらのイベントに、協賛など何らかの形で参加する予定です。

現在、事務局では、エコフェスティバルの準備に追われており、とりわけ「オゾンちゃん」関連の仕事の比重が増えております。

エコフェスティバルに出展する「4コマ漫画」全4編は、やっと完成しました。この漫画については下記ホームページにも掲載予定ですので、エコフェスティバルに来場されなかった場合は、ホームページをごらんください。

ホームページについては、もっと見やすくするため、近々大幅にリニューアルする予定です。もうしばらくお待ちください。

兵庫県フロン回収・処理推進協議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 (兵庫県生活文化部環境局大気課内)

TEL (078) 362-3284 FAX (078) 362-3966

<http://www.bekkoame.or.jp/ro/fron>